防災関係課長会議　会議録

1　日　時　令和５年７月２０日（木）午後１時３０分から午後３時００分

2　会　場　愛知県自治センター　大会議室

3　当番市　江南市

4　出席者　県　防災安全局　防災部　防災危機管理課
危機管理・国民保護グループ　課長補佐　青山　幸久
防災安全局　防災部　防災危機管理課
危機管理・国民保護グループ　主任　金丸　隼也
防災安全局　防災部　災害対策課
支援グループ　課長補佐　稲石　和豊
防災安全局　防災部　災害対策課
支援グループ　主査　冨田　めぐみ
防災安全局　防災部　災害対策課
災害対策グループ　主査　山田　貴文
市　名古屋市　防災危機管理局　危機対策室長　大榎　英嗣　始め４０名
市長会事務局　瀧田　崇司　成瀬　博幸

5　内　容　①　開　会　市長会事務局　成瀬　博幸

②あいさつ　県　防災安全局　防災部　災害対策課
支援グループ　課長補佐　稲石　和豊

③　議　題

【議題１】洪水浸水想定区域内等に立地する公共施設の指定緊急避難所の指定について

質疑応答及び発言内容

岡崎市　：名古屋市は、指定緊急避難所を指定する時、構造安全性の基準はあるか、また、想定浸水深より上階のみ避難スペースとしているとあるが、具体的な住民への周知方法について伺いたい。

名古屋市：構造安全性については、過去に調査を委託し安全性の確認が取れた施設を指定している。

また、河岸浸食で崩落のおそれがある施設については指定から外している。

上階への避難の周知方法については、ハザードマップ上に3階以上などに避難してくださいなどの記載をしている。

岡崎市　：碧南市は、洪水等災害ごとに避難できる避難所の指定に改める予定との記載があるが、これは河川ごとに決めているのか、もしくは複数河川ごとに決めているのか、また複数の場合どのように対応されるか。あと、来年以降施設内に垂直避難可能なスペースも確保できるとのことですが、小学校などの施設に入られる場合、鍵の管理はどのようにされるか。

碧南市　：現在指定している避難所も小学校が4か所ほど、浸水してしまうおそれがあり、見直しを検討している。また、鍵については交渉中である。

岡崎市　：弥富市は広域避難をするとのことだが周知やマニュアルの作成などどのようにされているか。

弥富市　：広域避難については、令和3年1月に愛知学院大学と広域避難の災害協定を結んでおり、日清キャンパスの学院会館を避難所（180名分）として指定している。周知については、自主防災会や自治会、防災関係機関、各種団体代表をバスに乗せ広域避難訓練を実施しており、市が避難指示を出した時には1つの選択肢として啓発している。

岡崎市　：なぜ、弥富市は、愛知学院大学と災害協定を締結したのか。

弥富市　：市長が愛知学院大学出身とのことで、災害協定を締結した。

愛知県　：緊急避難場所や指定避難所を多く確保することは重要である。

しかし、危険な場所を指定すると、2次災害に巻き込まれる場合もある。

洪水に限れば、やはり浸水区域外に設けることがよいが、避難場所を確保することが困難である場合は、浸水想定の水位より高い場所をできるだけ確保する必要がある。

また、避難場所が増えるほど、当該建物の管理条件等もあるので、普段より鍵の開け方や速やかな避難方法を検証する必要がある。

避難に時間がないことが予測されるので、事前に周知できるとよいと思われる。

広域避難のあり方については、今後、県も一緒に考えていきたい。

【議題２】災害対応における市外職員の配置について

質疑応答及び発言内容

愛知県　：職員の適正な配置については、個々の職員の交通事情や住宅事情も多岐にわたる。防災担当の職員が必ずしも近くに住んでいるわけではないので、県では近隣に住んでいる職員に一時代行者というものを指定し、本部の立ち上げや、初動班が参集するまでの対応している。

しかし、毎年参集訓練を実施しているが、なかなか、防災の担当とは、温度差がある。

過去は県庁の近くに公舎があり、そこから参集できたが、徐々にそういった施設はなくなっている。他県では、過去の被災の教訓から県庁の近くに幹部用の宿舎や独身寮があり、利用者を防災要員として参集させるような取り組みをしているところもある。

ＢＣＰについては、全国でも４番目に高い策定率となっているが、なかなか職員に理解が得られないため研修会などに協力いただきたいとの依頼もあるので、県職員を活用いただきたい。

個々に相談いただければ、対応させていただく。

【議題３】災害対策本部のレイアウトと報道関係機関への対応について

質疑応答及び発言内容

蒲郡市　：名古屋市では、対策本部員と情報センターが分けられているが、本市で同じことを実施しようとすると情報が分断される恐れがあるため、助言等あればいただきたい。

名古屋市：本部会議にカメラを入れ、情報センターで放送しており、会議後は、本部員が情報センターに行き、各局に指示を出している。

また、毎年１０月頃に市で関係機関と併せ本部運営訓練を実施している。

蒲郡市　：豊田市は会議の傍聴について、マニュアルを定めているとこのとだが、どのようなものか。

豊田市　：広報担当部署が内規をもっており、マスコミ対応について防災部署と役割分担を決めているということを示していると思われる。

愛知県　：県では、自治センター６階が、災害対応を行うフロアとしている。災害対策本部室があり、本部会議室、災害情報センター室な

どがあり、6階以外にも自衛隊や緊急消防援助隊、応援チームなどが自治センター内の各所を使う形で整理している。

また、災害情報センター室の一角に、マスコミ用のスペースがある。災害対策本部会議についても傍聴等できるものとしている。

【議題４】市民に支給した土のう（川砂入り）の処分方法について

質疑応答及び発言内容

江南市　：日進市では、土のうの回収を行っているとのことだが、回収後どうしているか。

日進市　：基本的に回収し、土のうを保管する倉庫保管する、処理は土木管理部署で行っている。

【議題５】避難所開設要員や交通規制要員とする管理職職員に対する対応について

質疑応答及び発言内容

江南市　：稲沢市では、危険手当を支給しているとのことだが、どのような基準で支給しているか。

稲沢市　：詳細については、把握していないが、おそらく災害時に外に出た場合支給しているものと思われる。

【議題６】避難所におけるペットの同行について

質疑応答及び発言内容

尾張旭市：東海市で避難所に専用スペースを設けているとの回答があるが、これは、避難所の敷地内か施設内かどちらか。

東海市　：敷地内としている。

江南市　：小牧市で１３施設同伴避難を開始したとのことだが、選定方法などあれば、ご教示いただきたい。

小牧市　：ペット同伴で避難したい方は市内にいるため、各中学校を選定し、避難所として開設されやすい、市民会館、市民センター、などを併せて選定した。

愛知県　：ペットの関係は県でも本格的に検討を始めている。ペットを理由に避難を拒否したり、逃げ遅れたりしないようにしなければならない。

ただ、避難所は共同生活を行う場所であるため、課題は多くある。

そのなか先行事例で挙げられる犬山市のようにペットに特化した避難所を設置しすることで、気兼ねなく利用ができると思われる。

県では、3つの類型で取組を進めていくとしており、まず、指定避難所強化型、約3,000ある避難所についてそれぞれ地域の実情に応じペットを受け入れる体制を整えていく必要がある。

次に、民間施設等活用型で、他県などの先行事例で、専門学校などと協定を結びペット同伴の避難所としたり、ゴルフ場やキャンプ場活用したりし、民間の力を活用するもの。

最後に官民共同型で、平時は民間が何等かの事業を実施し、災害時は避難施設として活用できないかと検討している。

これらの取り組みで進めていきたいと考えている。

【議題7】その他

【意見なし】

④　次年度当番市の決定　　小牧市

⑤　閉会　　市長会事務局　　成瀬　博幸